

19. 山陰自動車道の建設促進について

中国部会提出

説明担当 長門市

本州の最西端に位置する山口県にとって、豊富な農林水産資源や豊かな自然景観、文化、歴史的財産、温泉等の観光資源を活かし、地域の自主的発展や活力ある地域づくりを進めるためには、山陰地域と山陽地域及び九州圏の玄関口である下関市とを連絡する高規格幹線整備は必要不可欠であり、災害時の孤立の解消、救急医療支援など地域住民の安心・安全の確保のためにもその早期整備は喫緊の課題である。

近年の、度重なる豪雨災害により幹線道路が通行止めとなるなど、市民生活や経済活動に多大な影響を受け、改めて災害に強い道路の必要性、重要性を認識させられたところである。

現在、山口県内の山陰道については優先区間の絞り込み調査が行われているところであるが、調査結果が示された後は、ただちに新規事業化に向け、「山陰道下関・益田間」の全線完成を図り、中国縦貫自動車道とを結ぶ高速道路ネットワークの早期構築に特段のご配慮がなされるよう要望する。